

評価のポイント

CL-新人.専門性の開発能力

[56-新人] 論理的思考の基本（垂直思考：ロジカルシンキング）

1. 以下の事例について論理的な説明をしてみましょう。

胃を切除したある患者が食事後にめまい、動悸、発汗、頭痛、手指の震えなどのさまざまな不快な症状が出て、立って歩くことができないくらい、とても気分が悪くなる。それについて、一度説明を受けたが忘れてしまったので、あなたに説明をして欲しいという。
あなたは、その患者に論理的にどのような説明をしますか？

事例は専門的知識を論理的かつわかりやすく相手（患者）に伝える説明が期待される。事例に対しては、以下の点を適切にわかりやすく説明する必要がある。

胃切除した患者は、事例のような諸症状が出ることは、ある一定期間において、個人差もあるが、数か月から数年におよぶこともある。その後、徐々に症状が無くなっていくことが考えられる。その原因は、通常の胃の形状だと食物がいったん胃内に留まるが、胃切除を行うと食物の流れが変わり、一部が十二指腸、小腸へ早期に流入することで自律神経の副交感神経である迷走神経が反射を起こし、事例のような諸症状を起こすダンピング症候群ということが起こっていることが考えられる。それは、食後数分から数十分以内に起こり、2～3時間程度持続する場合もある。また、食物が腸に早くに到達することでインスリンが急速に分泌され、低血糖症状が起こり、事例のような症状が出現していることが考えられる。

2. 以下の事例について論理的な説明をしてみましょう。

同僚の看護師Aは、「私が担当した手術後の数例のすべての患者は手術後1日以内に発熱しているので、明日担当する患者も発熱するに違いない」と言い、そして、看護師Aはあなたにその考えをどう思うかを質問しました。
あなたは、看護師Aに論理的にどのように話されますか？

事例は同僚の看護師Aに対しては、講義資料を参考に、結論（主張）＋ 根拠（理由）の間に隠れた前提の信頼度が存在して、内容的（構造的）論理となっているのかいないのかを考え、質問に答えることが期待される。看護師Aが、明日の勤務において担当するあるいはした手術後の患者は発熱するというその理由は、看護師Aが担当した手術後の数例のすべての患者が発熱したことにある。この結論（主張）と根拠には、信頼できる隠れた前提がどの程度あるのかということを踏まえて論理的に回答することが期待される。